

河 都 整 第 82 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

河合町長 岡 井 康 徳



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

(回答)

平素は、町行政に対しまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼のありました件につきまして、別紙のとおり回答致しますので、よろしくお願い致します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県河合町

都市近郊地域と山間地域とは生活圏が大きく異なるため、地域により道路の必要性についても違いがある。その一つとし、都市近郊地域については生活道路の安定整備を基本とした広域幹線道路のネットワーク整備が必要をされており又、山間地域については、周辺の拠点都市（地方都市）とを結ぶ連絡道路の整備が必要不可欠であると考える。

又、地域のバランスある活性化が必要であり、拠点都市（地方都市）だけに限らず、地方道と鉄道など他の交通機関とを相互に結ぶことが重要であり、それによって地方の発展につながると考える。

○ 現状

当町は、県道王寺田原本桜井線及び大和高田斑鳩線が東西南北を横断しており又、現在、県事業により整備されている県道天理・王寺線の開通により、現状より更に地域の活性化につながり、地方道の交通量も増加することが見込まれる中、地方道の道路整備が追いついていない。

○ 課題

今後の課題とし、現在、県事業において道路整備を行っている県道天理・王寺線の全計画路線の早期実現が望まれている中、本線の開通に伴う交通量の増加、地域の活性化に伴い、本町の現状路線の整備及び安全対策等が急務となっている。

又、本町の要望とし、現在整備されている京奈和自動車道の全区間の共用開始に向け、本町と本道路 I.C へのアクセス道路の拡幅整備が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

奈良県河合町

クルマ社会が定着している現代社会において、交通渋滞、交通安全、沿道環境等の基本的課題の解消をし、道路を利用される全ての方にストレスのない道路環境の整備を図りたい。又、地域の活性化に結びつく地域づくり、町づくりを支える道路の実現に向け、計画、実施する。